平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名　株式会社 光陽社　　上場取引所　大
コード番号　7946　URL　http://www.koyosha-inc.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐々木　孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長　(氏名) 西田道夫　TEL 03-3266-6691

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,861	△0.4	18	48.5	16	193.2	6	152.9
24年3月期第2四半期	1,868	1.0	12	△53.8	5	△59.8	2	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　6百万円　(171.1%)　24年3月期第2四半期　2百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.50	―
24年3月期第2四半期	0.20	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,404	473	19.7	36.26
24年3月期	2,475	467	18.9	35.78

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　473百万円　24年3月期　467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,983	△0.4	109	△1.8	102	6.3	77	△10.5	5.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	13,392,000 株	24年3月期	13,392,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	322,223 株	24年3月期	321,526 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	13,069,946 株	24年3月期2Q	13,071,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機による世界経済の減速懸念や歴史的円高水準の影響などもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況であり、回復の動きに足踏みがみられます。また業界自体におきましても、ＩＴ化の進展や紙媒体の減少など引続き厳しい業界環境が続きました。

このような環境の中、当社は、紙媒体においては、印刷メディアの高精細化や高彩度化のニーズに応える、新しい網点構造を持つ独自の最先端デジタルワークフロー「ザ・フェイバリット」を展開してまいりました。電子媒体では、既存の通信ネットワークを利用して、お客様の広告媒体をタイムリーに配信できるデジタルサイネージ配信システム「伝介a-signage」を開発し、導入いたしました。また、新たに販売促進向上のツールとして、ＡＲ（拡張現実）サービスの開発にも着手しております。

生産においては、コストダウン施策を展開するとともに、品質管理、環境対応も推進いたしました。コストダウンでは、仕事単位での損益数値を分析し、コスト管理をより明確にする仕組みとして、受注一品別利益管理システムを導入しました。品質管理としては、印刷機の各種管理項目の数値化による、安定化対策を確立しました。環境対応では、作業環境の改善として、より厳密な自主管理規定を設定し運用いたしました。

以上の施策を行いましたが、厳しい業界環境は既存事業における単価下落を招き、予想を上回る苦戦を強いられることとなりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は18億61百万円（前年同四半期比0.4％減収）となりました。内訳は、製品売上高は5億99百万円（前年同四半期比0.5％増収）、印刷売上高は11億81百万円（前年同四半期比2.2％増収）、商品売上高は79百万円（前年同四半期比30.9％減収）となりました。損益面においては営業利益は18百万円（前年同四半期比48.5％増加）、経常利益は16百万円（前年同四半期比193.2％増加)、四半期純利益は6百万円(前年同四半期比152.8％増加）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は24億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて70百万円減少しました。流動資産は16億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて32百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が63百万円減少し、売掛金が32百万円増加、受取手形が91百万円減少したことによるものです。固定資産は７億35百万円となり、前連結会計年度末に比べて37百万円減少しました。これは主に、減価償却費の計上によるものです。

当第２四半期連結会計期間末における負債合計額は19億31百万円となり、前連結会計年度末に比べて76百万円の減少となりました。これは主に、支払手形が51百万円減少したことによるものです。

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計額は４億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ６百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績は、予想を下回るものとなりました。通期の業績といたしましても、ＩＴ化の進展や紙媒体の減少など厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成24年10月19日に業績予想を修正しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	678,109	614,733
受取手形	226,427	134,818
売掛金	633,602	666,318
商品	8,108	8,458
仕掛品	91,811	99,595
原材料及び貯蔵品	24,442	25,065
その他	45,308	126,577
貸倒引当金	△5,564	△5,685
流動資産合計	1,702,246	1,669,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	152,475	151,235
機械及び装置（純額）	251,647	229,385
車両運搬具（純額）	12	6
土地	202,507	202,507
リース資産（純額）	5,373	2,893
その他（純額）	10,290	8,839
有形固定資産合計	622,306	594,868
無形固定資産		
のれん	32,519	24,036
その他	49,001	46,697
無形固定資産合計	81,520	70,734
投資その他の資産		
投資有価証券	4,665	4,448
破産更生債権等	17,476	19,098
差入保証金	36,550	36,468
その他	27,509	27,785
貸倒引当金	△17,134	△18,331
投資その他の資産合計	69,067	69,468
固定資産合計	772,894	735,070
資産合計	2,475,141	2,404,952

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	372,057	320,798
買掛金	204,379	193,336
短期借入金	142,644	143,644
リース債務	5,728	3,396
未払金	70,516	60,481
未払法人税等	16,888	14,360
賞与引当金	16,661	15,905
その他	76,231	151,198
流動負債合計	905,106	903,122
固定負債		
長期借入金	634,190	560,368
長期未払金	68,317	55,463
リース債務	491	―
退職給付引当金	399,363	412,087
固定負債合計	1,102,362	1,027,918
負債合計	2,007,469	1,931,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,928,959	1,928,959
資本剰余金	180,000	180,000
利益剰余金	△1,604,472	△1,597,976
自己株式	△35,267	△35,307
株主資本合計	469,218	475,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,547	△1,764
その他の包括利益累計額合計	△1,547	△1,764
純資産合計	467,671	473,910
負債純資産合計	2,475,141	2,404,952

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	1,868,367	1,861,393
売上原価	1,424,777	1,425,468
売上総利益	443,589	435,924
販売費及び一般管理費	431,050	417,307
営業利益	12,539	18,617
営業外収益		
受取利息	56	127
受取配当金	249	255
受取賃貸料	1,094	1,092
作業くず売却益	6,938	6,949
貸倒引当金戻入額	1,817	－
その他	730	717
営業外収益合計	10,885	9,141
営業外費用		
支払利息	12,509	9,943
支払補償費	3,111	932
その他	2,270	656
営業外費用合計	17,891	11,532
経常利益	5,533	16,227
特別損失		
固定資産売却損	486	－
特別損失合計	486	－
税金等調整前四半期純利益	5,047	16,227
法人税、住民税及び事業税	2,477	9,730
法人税等合計	2,477	9,730
少数株主損益調整前四半期純利益	2,569	6,496
四半期純利益	2,569	6,496

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,569	6,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	△217
その他の包括利益合計	△253	△217
四半期包括利益	2,316	6,279
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,316	6,279
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,047	16,227
減価償却費	61,394	54,914
のれん償却額	8,483	8,483
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,827	1,318
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,343	△756
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,806	12,723
受取利息及び受取配当金	△275	△382
支払利息	12,509	9,943
為替差損益（△は益）	6	4
有形固定資産売却損益（△は益）	486	－
売上債権の増減額（△は増加）	61,826	57,272
たな卸資産の増減額（△は増加）	△19,114	△8,757
仕入債務の増減額（△は減少）	△31,070	△62,300
その他	△30,809	△20,463
小計	83,806	68,228
利息及び配当金の受取額	275	382
利息の支払額	△12,478	△9,931
法人税等の支払額	△10,307	△12,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,296	46,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△18,108	△18,542
有形固定資産の売却による収入	4,300	－
無形固定資産の取得による支出	△5,857	△2,854
短期貸付けによる支出	－	△500
短期貸付金の回収による収入	－	83
長期貸付金の回収による収入	450	－
差入保証金の差入による支出	△184	－
差入保証金の回収による収入	325	155
その他	△189	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,263	△71,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	20,000	－
長期借入金の返済による支出	△67,250	△72,822
自己株式の取得による支出	△44	△40
リース債務の返済による支出	△2,661	△2,823
割賦債務の返済による支出	△12,021	△12,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,977	△88,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△4

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△19,951	△113,376
現金及び現金同等物の期首残高	628,468	668,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	608,516	554,733

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。